



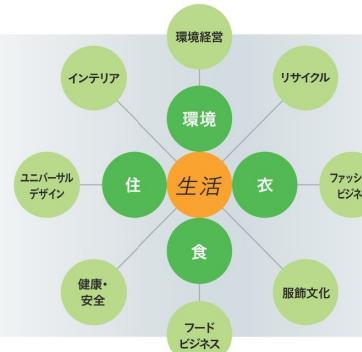
衣食住+環境を学び、
暮らしを支える
ビジネスのプロを育成。



Department of Life Environments Management

生活環境マネジメント学科

Field of study 学びのフィールド



衣食住と環境との
関わりにおける
課題解決力を身に付け、
生活分野のビジネスで
活躍できる人材を目指す

Feature 学科の特徴

専門の学修、
進路選択につながる
就業体験を早期に実施

2年次の夏休みに行なうアカデミック・
インターンシップは、衣食住を扱う企
業、市役所、環境団体など幅広い分
野から進路を意識して取り組むこと
ができる、3・4年次の専門分野の学修
に向けた貴重な経験となります。

理論と実践を
バランス良く学び、
両輪で成長を促す

衣食住、環境、社会生活など、教員
陣の専門領域は多彩です。自然環境
や生活環境と共生するビジネスにつ
いて理論と実践の両面から指導しま
す。実践力を養うため、課外活動にも
力を入れています。

快適な暮らしを支える
多様な資格や
各種検定の取得をサポート

「eco検定(環境社会検定試験)」[®]
や「健康管理能力検定」、「ファッショ
ンビジネス能力検定」、「福祉住環境
コーディネーター検定」、「色彩検
定」など、さまざまな受検をサポー
トしています。

生活環境マネジメント学科「卒業論文・卒業研究」タイトル(2022年度一部抜粋)

- アパレル業界の環境問題の現状とこれから
- おもちゃのリサイクルシステム
- エカルトとファッションの関係
- 身体装飾の必要性
- 脱プラスチックストローの可能性
- 伸びる家庭用冷凍食品市場
- 痩せとダイエット
- Z世代の新たな住まいのかたちと今後の展望
- シャッター商店街が賑わいを取り戻すには
- 人気カフェのインテリア

生活環境
マネジメント学科
ホームページは
こちら



Curriculum カリキュラムの概要

学びのステップ	1年次	2年次	3年次	4年次
	生活環境に関するマネジメントの基礎を学ぶ	インターンシップを経験し、実践力をつける	専門的な学びを深める	4年間の学びの集大成として卒業論文、卒業研究に取り組む
基幹科目	生活環境入門 衣生活と環境 食生活と環境 住生活と環境 環境倫理学 環境政策 地域経営	【履修科目】 【衣食住】 衣服文化論 食文化論 居住文化論 ファッションデザイン フードデザイン インテリアデザイン ファッションビジネス フードビジネス ファッション商品企画 テキスタイル論 食と健康 食の安全 都市計画論 庭園と都市環境	【社会生活】 消費者問題 消費者のための法律 消費経済論 社会保障論 健康管理論 タウンマネジメント 【環境経営】 環境経済学 環境法学 地球環境と経営 資源・リサイクル論	Pick up
マネジメント学部共通専門科目	【講義】 マネジメント学入門 社会科学入門 女性の生活マネジメント 環境経営学入門 ニュースで学ぶ:現代社会	演習 生活環境マネジメント学演習ⅠA 生活環境マネジメント学演習ⅠB	生活環境マネジメント学演習ⅡA 生活環境マネジメント学演習ⅡB	卒業論文・卒業研究
	【演習】 実践ゼミナールA 実践ゼミナールB インターンシップ	【講義】 マネジメント マネジメントと女性リーダー ¹ エコビジネス論 女性のキャリアデザイン リスクマネジメント論 日本の財政 ビジネス統計	共通専門科目 マネジメント学部	

*このカリキュラムは2023年度現在の教育課程に基づものです。

Course model 履修モデル

幅広い将来に合わせて、3つの履修モデルを設定しています。

衣食住マネジメント	社会生活マネジメント	環境マネジメント
衣食住を中心とした生活環境に関するマネジメント能力を身に付ける	社会生活と消費生活に関するマネジメント能力を身に付ける	環境政策と環境経営に関するマネジメント能力を身に付ける
【履修科目例】 ■ インテリアデザイン ■ フードデザイン ■ ファッション商品企画 ■ 食文化論 ■ テキスタイル論	【履修科目例】 ■ 地域経営 ■ 社会保障論 ■ 消費者のための法律 ■ 健康管理論 ■ 消費経済論	【履修科目例】 ■ 庭園と都市環境 ■ 地球環境と経営 ■ タウンマネジメント ■ 住生活と環境 ■ 環境経済学
【「フードデザイン」を履修した学生の声 テーブルマナーやテーブルコーディネートからダイエットまで、「食」に関わることを幅広く学びます。「食」をデザインすることは、ライフスタイルをデザインすることだと感じました。	【「健康管理論」を履修した学生の声 女性特有の病気について詳しく学べました。特に不眠が20代の女性に多く、質の悪い睡眠が病気につながると知り、きちんと睡眠を確保することの大切さを理解しました。	【「住生活と環境」を履修した学生の声 人が暮らす環境に興味がありこの授業を選択。住居と環境のつながり、良い環境で生活するための知識を学ぶことができました。自分の部屋の収納などについても考えました。

Student's Voice 学生の声

幅広い分野の学びがあるからこそ

本当に学びたいことが見つかり、理解を深めることができました。

K.S.さん

生活環境マネジメント学科4年 埼玉県 県立坂戸高等学校出身

高校生の頃に観ていたドラマがきっかけでインテリアコーディネーターという職業を知り、インテリアや建築に興味を持つようになりました。一方で、私はおいしいごはんを食べること、つくることも好きで、進学先を悩んでいたときに跡見学園女子大学を知り、「住」も「食」どちらも学べる生活環境マネジメント学科への進学を決めました。

年次を追うごとに徐々に自分の好きな分野が明確になり、海外の庭園文化を学ぶ授業をきっかけに「住」分野の学びに絞りました。現在はゼミで、住宅の「庭」と「緑化」を結びつけて、今後庭がどう変化していくかをテーマに卒業論文を執筆しています。

卒業後はホテル業界への就職が決まり、大学で学んだ建築や食の知識はもちろん、1年次に取得した秘書技能検定なども活かしていきたいと思っています。

3年次の時間割(例)

	月	火	水	木	金	土
1限				生活環境マネジメント学 演習ⅠB		
2限	子どもの こころとからだ	地球環境と 経営	食の安全			
3限	統合科目 (総合選択)	タウン マネジメント		総合科目 (緑化)		
4限	マネジメント と女性リーダー	食文化論		総合科目 (地域社会)		
5限	深層心理学					



マネジメント学部

生活環境マネジメント学科

環境保全とビジネスの両立を考える

地球環境と経営

宮崎 正浩 教授 [研究分野]環境政策

気候変動や生物多様性の危機、プラスチック廃棄物による海洋汚染などの地球環境問題が深刻化しています。企業は、その社会的責任として、このような地球環境問題の解決に貢献することが求められています。本授業では、地球環境の保全とビジネスの両立に取り組む国内外の主要企業の事例を学び、その解決方法を考えることにより、社会に必要とされる課題解決力を身に付けます。